

# 群馬県におけるメディアを活用した 戦略的な広報について —建設技術者や土木の魅力を発信—

群馬県 県土整備部 建設企画課

## 1. はじめに

建設産業は社会資本の整備と維持管理の担い手、災害時における地域の安全・安心の守り手であるとともに、地域の経済や雇用を支える重要な役割を担う産業である。

しかし、長期にわたる建設投資の減少等による「厳しい経営環境」や、新規入職者の減少、入職者の定着率の低下、技術者の高齢化等による「技術者の不足」という構造的な課題を抱えており、建設業者数及び建設業就業者数はピーク時から大幅に減少している（図-1）。

また、県内大学・高校の建設系学科では、卒業生が就職先として建設産業を選択しない割合が高くなっており、全国平均よりも就業者の高齢化率が高く、若者（29歳以下）の割合が低い傾向にある（図-2）。

今後、さらなる高齢化の進展と生産年齢人口の減少が想定される中、このままでは人材不足などから建設業者の経営が困難になり、担い手の減少により、持続的な社会資本の整備と維持管理が立ち行かなくなることが懸念されている。将来にわたって、社会資本の着実な整備や適切な維持管理を推進し、地域の安全・安心を確保するためには、建設産業の担い手の中長期的な確保・育成の

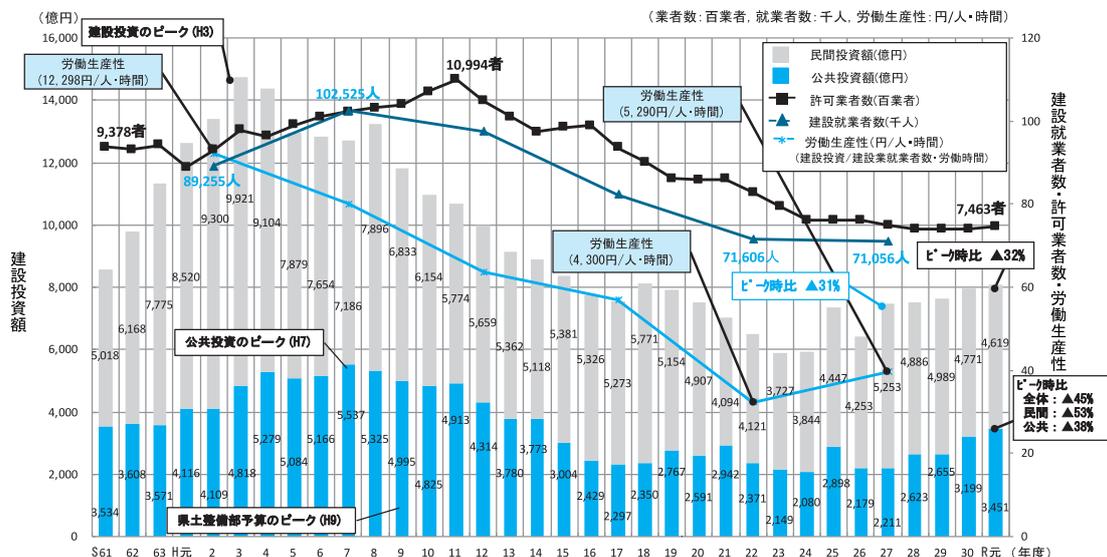


図-1 群馬県の建設投資、許可業者数、就業者数の推移 【出典】建設投資額：建設総合統計年度報（国土交通省）

支援が必要不可欠な状況となっている。

こうした状況の中、群馬県では土木の魅力を発信し、将来を担う子供たちや、その保護者にも興味を持ってもらうため、土木施設や建設現場で活躍する技術者に焦点を当てて、普段あまり表舞台に出てこない技術者の素顔や仕事を紹介するテレビ番組の制作・放映や動画配信を通じ、建設産業の役割や魅力を広く伝えている。

## 2. 群馬県内の土木施設を紹介するテレビ番組「BIRD'S EYE」

私たちの生活に欠かせない土木施設。県内には重要文化財に指定されたもの、最新の技術を駆使したものなど、将来に語り継ぐ価値のある土木施設が数多く存在する。

その土木施設の役割や魅力を広く伝え、また将来を担う子供たちに土木に興味を持ってもらうため、平成29年4月から令和2年3月までの3年間、県内の土木施設を紹介するテレビ番組「BIRD'S EYE」Ⅰ～Ⅲを制作し、地元の群馬テレビで放送した（写真-1）。

番組制作は、群馬県と（公財）群馬県建設技術センターをはじめ、国土交通省や東日本高速道路

（株）、（独）水資源機構及び業界団体にも協力協賛を得て、幅広く土木施設を紹介した。

ドローンで撮影した映像などを駆使して、土木施設ならではのスケール感・ダイナミック感を出しながら、普段見られない視点から土木施設の魅力を余すところなく伝えることができた。

### 【概要】

- ① 放送期間：平成29年4月～令和2年3月
  - ② 放送日時：毎週土曜日・日曜日 18：15～18：20（日曜日は再放送）
  - ③ 対象施設：県内の土木施設（年間50施設）
- Ⅰ：平成29年度「ぐんまの偉大な土木遺産」  
 Ⅱ：平成30年度「ぐんまの生活を支える土木施設」  
 Ⅲ：令和元年度「ぐんまの風景を魅せる土木施設」



写真-1 「ぐんまの偉大な土木遺産～BIRD'S EYE～」

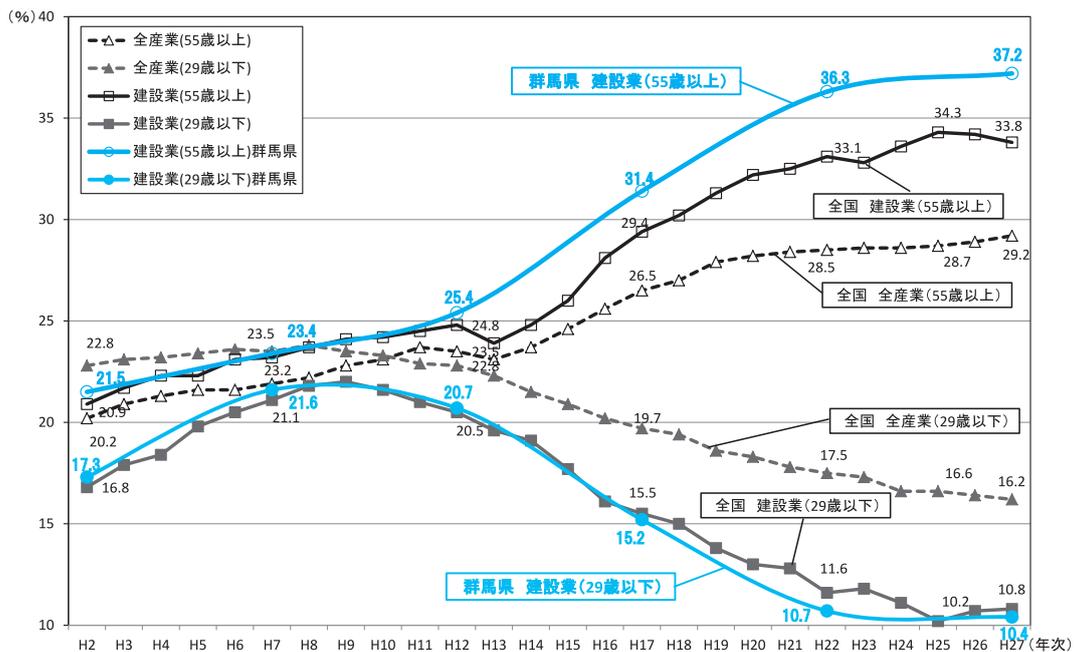


図-2 建設業就業者の年齢構成の推移 【出典】総務省「労働力調査」、国勢調査（群馬県数値）

### 3. 建設技術者を紹介するテレビ番組 「@！（アッと）驚く ぐんまの ヒミツ ～土木探検隊が行く～」

令和2年4月からは、土木施設の紹介にとどまらず、最前線の現場で活躍している技術者にスポットを当てて、土木の魅力や、やりがいを発信する番組を制作し、群馬テレビで放送している（写真-2）。

番組制作は、群馬県と（公財）群馬県建設技術センターをはじめ、（一社）群馬県建設業協会など業界団体にも協力協賛を得て、幅広く建設産業界で活躍している技術者を紹介している。

人気タレントや芸人のみなさんで「土木探検隊」を結成し、普段見ることができない土木施設や建設現場に潜入して、「@！（アッと）驚く ぐんまのヒミツ」を伝えている。月ごとの内容にあった探検隊員を1名派遣して、県外出身者でもある彼らから見た新鮮なリポートを通じて、土木施設や建設現場の裏側や、最前線の現場で活躍している技術者を紹介している。

#### 【概要】

- ① 放送期間：令和2年4月～令和3年3月
- ② 放送日時：毎月第4日曜日 18：45～19：00
- ③ 出演者：ユージ、尼神インター渚、武井ドングバビー

### 4. 多様なメディアによる広報の展開

テレビ番組は放送後、順次 YouTube でも配信している（図-3）。

また、「BIRD'S EYE」は、土木施設の歴史や役割、価値などの解説が加えられた資料映像として、イベントや研修などでの放映や、土木系高校などに番組DVDを配布し、教材としても活用していただいている。



写真-2 「@！（アッと）驚く ぐんまのヒミツ ～土木探検隊が行く～」 第1回放送（出演者：ユージ）



図-3 YouTube「群馬県建設企画課」

### 5. おわりに

建設産業は、快適で利便性の高い生活や、活力ある社会経済活動を支える社会資本の整備と維持管理の「担い手」として、さらには、記憶に新しい昨年台風第19号による甚大な被害など、頻繁・激甚化する気象災害から地域の安全・安心を守る「守り手」として、重要な役割を担っている。

我々の生活に欠くことのできない建設産業の健全な発展に向け、メディアを活用した広報活動を通じ、建設技術者や土木の魅力を発信し続けることにより、これからの建設産業の担い手となる若者の安定的かつ持続的な確保・育成を支援していきたいと考えている。